



“積極進取！”

第 14 号



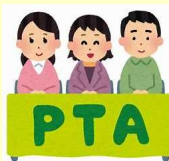
令和2年11月13日(金)

発行者 校長 上原 源三

～ 保護者の皆さま! ありがとう!! ～

新型コロナの影響でPTA活動も思うようにいかず、今年度の予定がことごとく自粛せざるを得ない状況です。特に昨年度3月から4月にかけては、新年度の発足や総会の準備等で忙しい時期でしたが、感染防止の観点から会議を持つこともままならない状態でした。

しかし、さすが那覇高校PTAは工夫に工夫を凝らし、那覇高校PTAブログ開設(那覇高校PTAと入力すれば見られます)、オンライン会議、PTA予算等の書面決議など、みんなで知恵を出して様々な取り組みを行ってきました。特に運営委員の皆さまには感謝してもきれないほど、学校の諸活動を支えていただいております。



健全育成部の朝のあいさつ運動は、9月より活動再開し第2、第4水曜日に早朝7時頃より約30分の活動を継続しています。特に先月の27日には参加者全員が、ハロウィンにちなんでプチ仮装をしながらあいさつをして生徒を和ませておりました。また、10月17日の創立百十年の記念講演後に“3学年応援企画「勝つカレーランチ会」～コロナに勝つ! 華麗にかつ! PTAより愛を込めて～”と題し、これから希望進路実現のために頑張る3年生を励ましていました。さらに30日(金)には役員、評議員の皆さまがハロウィン企画で全生徒にお菓子をプレゼントしております。

上記企画の詳細はブログにアクセスすればどなたでもご覧いただけます。このような様々な企画は、保護者の皆さまが“コロナ禍にあっても何とか生徒たちを励まし笑顔届けたい”という思いからだと推察しています。

宮里 憲(けん) PTA会長をはじめ、役員及び評議員、全ての会員の皆さまのご協力に重ねて感謝申し上げます。 校長

～ 凄いぞ! 那覇高職員!! ～

那覇高校は生徒の活躍が目立ちますが、実は先生方も凄いのです。

11月6日(金)に「令和2年度沖縄県教育関係職員表彰」で理科の知念幸子先生、保健体育科の大城敏裕先生及び伊志嶺勲事務長が表彰されました。

知念先生は地学教育はもちろんのこと、自然科学部を指導し全国大会へ出場させるなどの実績が認められております。また、大城先生は高校水泳競技の発展に尽力し、特に水泳競技を通し進路指導に結びつけるなどの実績が評価されています。さらに、伊志嶺事務長は34年間の職歴と県事務長会会長として尽力し、その実績と功労を讃えての受賞となりました。

その他にも那覇高校にはまだまだ指導力に優れ、実績のある先生方がたくさんいます。生徒のみなさんは先生方の能力を最大限に活用・継承して、さらなる資質の向上に繋げてほしいと思います。 校長

*** 校長雑感 ***

教頭時代に事務職員がハロウィンでパーマン(生徒諸君分かるかな?)のコスプレを作ってくれた。学校の恒例行事だったのでパーマンの格好に着替えていた。幸か不幸か教育長が学校視察に訪れる日だった。駐車場にパーマンの格好でお迎えに行くと、その姿を見た教育長の第一声は「君、大丈夫か?」だった。“きっと笑ってくれるはず”と思っていたが、甘かった。

～～～ 時の言葉 ～～～

「しんぱいするな。
なんとかなる。」



(一休宗純)

とんちで有名な一休さんの言葉。一休さんが亡くなる前に弟子に手紙を託した。「自分が死んだ後、どうにもならないような苦難が起きたときにこれを読みなさい」数年後、未曾有の困難に直面した弟子がこの手紙を読んでみると上記の言葉が書かれていたという逸話です。私はこの言葉に何度も救われました。どんな困難な状況にあっても、この精神を忘れてはいけません。

～ 希望進路実現を! ～

3年生の顔つきが変わってきました。高校卒業時には進む道が多様となり、就職、大学、専門学校、留学など、まさに様々です。

今年度、那覇高の大学入学共通テストの志願者数は311名で約79%となっています。すでに推薦入学の試験が始まっており、3年担任のみならず、他の先生方が面接の練習をしたり、小論文の指導などに連日追われています。

特に①知識、技能、それに基づく②思考力、判断力、表現力③他者と協働(協力)して主体的に取り組む力などが問われそうです。大切なことは、これまで準備してきた力を発揮することです。

是非希望進路の実現を! 校長